

教育通信

看護技術研修 急変対応

内容

- 1 気管内挿管の使用物品と使用方法
- 2 バックバルブマスクの使用法



研修の様子

前半の講義も真剣に聴く姿が見られました。演習では挿管介助グループとバックバルブマスクグループに分かれ、実際に物品に触れながら使用してみました。積極的に触れてみたり、質問をしたりと有意義な演習になったと思います。時間が足りず全員が実際に行えたわけではありませんでしたが、使用方法について十分に理解できたのではないのでしょうか。

研修後も質問にくる受講生もあり、研修にたいする意欲が伺えました。これからも、意欲的に研修に参加し、さまざまな知識・技術を身につけてください！



編集後記

・挿管介助やバックバルブマスクなど普段使用しないものに触れてみるいい機会になったと思います。今回全員が挿管体験やバックバルブマスクでの換気が経験できたわけではありませんが、この研修をきっかけに所属部署で学習や復習をして、いざという時にそなえてもらえたらと思います。

担当 3階東病棟 宮内綾人

